

東和作戦会議 会報 No.43

令和6年1月17日発行

一般社団法人 東和作戦会議



〒028-0114

岩手県花巻市東和町土沢5区372

電話：0198-29-6500 FAX：0198-29-6501

メール：omoshiro@leaf.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://touwa-noutabi.com/>

広報担当 多田悦子



年頭のあいさつ
(一社)東和作戦会議
代表理事
薄衣忠孝

新年おめでとございいます

昨年は、みなさまのご協力により、事業運営を滞りなく推し進めることが出来ましたことに感謝をいたします。

移住定住事業も順調に相談件数を伸ばし、地域に貢献できる団体として、安定した活動が評価されています。農旅セツトの販売も予定数を超えるほどの人気でしたし、とうわ椿油の開発や来町者、他団体との交流や事業連携なども着実に成果が表れています。

新型コロナウイルスの脅威は、下火になったものの、世界では紛争も終息せず、経済情勢は依然として混沌とし、予断を許さない状況にあります。

本年も、さらに他団体との連携を強化しながら、インバウンド等も含めた来町者との交流、名所のPR、特産品の開発等、本町の資源活用を図ることを念頭に、アグレッシブに事業展開できるように、検討を重ねていきたいと思えます。

本年も、健康には十分留意し、一同元気に力を合わせて参りましょう。





農旅セット 108 個完売

昨年 11 月に販売開始した東和農旅セットは、皆様のご協力により、限定 100 個を上回る 108 個を完売することができました。

東和地域の物産等を中心にセット内容を吟味し、9 品目、税込み 4,000 円で予約販売を開始したところ、予約が殺到し瞬く間に予定数に達しました、終了間際にさらに追加の注文まであり、東和農旅セットの評価が安定したものと確信するに至りました。準備から発送まで、また、梱包作業や、予定外のプレゼント(漆器)の調整作業に奮闘した結果としては、51,261 円の売上収入は、まだまだの収益ですが当初の目的どおり東和を発信するための手立てとして捉え、今後も地場産品紹介のツールとして続けてまいります。東和町から三重県に転居された斎藤ご夫妻から小田美香子さん宛てにメールでお礼状が届きました。



「東和農旅セット、届きました。毎年あかとうございます
一つひとつ取り出しては 2 人で感動。またまた東和町での話に花が咲きました
佐々長さんのつゆ、近くのスーパーにも少し前に並んでました。椿油も貴重なお品ですね。商品化されてすごい。どれもこれも東和愛を感じるものばかりでいた
だく楽しみが出来ました。本当にいつもあかとうございます皆さんに宜しくお伝えく
ださい。

(美香子さんがやなのうえで箱詰め作業した話をしたら)

1 日で 100 箱はすごい。それまでの準備も大変なことだったでしょうね。

商品ごとの説明やコメント、使い方までも…そしてお椀や、コスモスの種とかにも
驚きで、どれにも心が込められていて、以前ネーミングのお話もあはしたけれど、
受け取る側としては本当に「東和からの宝箱」って感じです。底に敷いてもらって
あった新聞岩手日報までも懐かしくて読んじゃいました。あかとうございました」



以上うれしいお礼状でしたので、斎藤ご夫妻の了承を得てご紹介させていただきました。

花巻市からの受託事業である東和地域移住・定住相談事業 相談件数順調な伸び

東和に住みたい。東和は魅力的という声は、実際に数字として表れてきたようです。東和作戦会議の移住定住相談件数が、市内他地域と比べ突出して多くなっています。猛暑に見舞われた 7 月 8 月は一桁台だったものの、4 月 35 件、12 月は 31 件と 30 件を越し、月平均の相談件数は 19.5 件という実績です。担当者の、細やかな調査と親身な相談が功を奏しているものと思われ、市当局も他地域にもこのような団体を設立したいとの意向を漏らすほど。相談件数が、そのまま移住定住につながるものではないものの、作戦会議としても、総力を挙げて取り組み、地道に空き家情報の入手等にも力を入れていきたいものです。



相談を受けている民家(左)と空き家物件見学中(右)の写真



令和5年産の椿の種で作った「とうわ椿」300本+8本

令和5年産とうわ椿油完成

令和5年産の椿油については、10月中旬から椿の種を集め始め、天日乾燥の後12月11日に石川製油に搬送。26日完成品を受け取りました。協力者15人、総収穫量26kgで、18g入りの小瓶300本、120g入り8本となりました。加工賃は26kgで10,400円、瓶代を含めた瓶詰代金は18g入り48,000円。120g入り960円で合計額は59,360円でした。賞味期限は2年とすることにしました。ただ、封を開けなければそれ以上もつということです。この後、ラベルの貼付、包装などを行い、4月から販売を開始します。

また、協力をいただいた方々には、収穫量に応じ完成品を配付します。配付個数は合計34本になります。残り266本を販売することになりますが、農旅セットで100本を使用、道の駅とうわで100本を買取販売していただく予定です。残り66本については、東和作戦会議で直営販売を行います。

ご用命お待ちしております。なお、収穫協力者の拡大、収集方法についても検討を進めていくことになります。

さらに椿油を使用したけんちん汁の料理講習会を、民泊・グリーンツーリズム企画事業と合わせて実施することなども検討中です。

事業検討会開催

新年1月11日17:00 東和総合支所
出席7名欠席3名



薄衣代表理事の年頭のあいさつのあと、大石理事から令和5年度の事業進捗状況について説明が行われ、概ね計画に沿って事業が推進されていることを確認しました。

今後の検討事項として、○缶バッチの販売方法○令和6年度の東和農旅セットの内容○椿油の販売方法及び椿油を活用したイベントの開催○ホームページ改良についての検討などがあげられ、令和6年度計画に反映していくことになりました。この後、会場を「いけ田」に移し、新年辰年の飛躍を祈念して新年会を行いました。